令和元年度学校関係者評価

専門学校中央医療健康大学校　歯科衛生学科

令和元年度学校関係者評価委員

■保護者

山田和昭　　（歯科衛生学科３年生　山田麻衣さんの保護者）

■企業関係者

今村陽一郎　　（今村歯科医院　臨床実習登録医院）

■他校関係者

根木規予子　　（中央歯科衛生士調理製菓専門学校　歯科衛生学科　教員）

１．教育理念・目標

【自己評価結果】		平均
1	教育理念並びに教育目標が明確に示されているか。	A
2	教育目標は卒業時の到達が読み取れるものになっているか。	A
3	教育理念並びに教育目標が教職員・学生に浸透しているか。	B
4	組織での目標設定が適切にされ、実行できたか。	A
5	鈴木学園クレドは教職員に浸透し、実践されているか。	A

【現状の問題点】

全体的に向上しているが、より浸透が図られるよう対策を講じて行きたい。

【改善のための方策】

・教育理念の教室に掲示。
・年度始めや臨床実習前、臨床式などの節目に読み合わせを行う。

【関係者評価】

・挨拶を改善させることにより、臨床実習で学生とスタッフ間との関係が良くなり、相乗効果が生まれる。
・レポート課題に追われ過ぎているため、臨床の楽しさややりがい等まで見る余裕がない。厳しく教育というよりは、学生自身が楽しめるような工夫が必要。

２．学校運営

【自己評価結果】		平均
5	目標を達成するための事業計画が策定されているか	A
6	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	A
7	情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	B
8	就業規則などの諸規定は適切に整備されているか。	A
9	組織内の連携は適切に図られているか。	A
10	上司の指示は適切にされているか	A
11	上司は提案を受け入れてくれているか	B
12	職場内での教職員教育・指導は充分なされているか。	A
13	BSCは適切に活用されているか。	B

【現状の問題点】

全体として大きな問題はない。情報システムの効率化は改善案があれば全体に提示できればど思われる。

【改善のための方策】

・学科会を定期的に実施しBSCの振り返りを行う。
・事前に議題を共有し時間の効率化を図る。
（月2回毎月第2・4火曜日17：00～18：00）

【関係者評価】

・三島校とは姉妹校であるため、今後も共通認識を増やし、より高めあいたい。

３．教育活動

【自己評価結果】		平均
13	授業評価の実施・評価体制はあるか	A
14	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	A
15	資格試験の合格率は他校と比較して妥当か。	A
16	資格試験の不合格者の対策は適切に行われているか。	A
17	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、 実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	A
18	目標に到達しない学生には対し適切なフォローがなされているか。	A
19	職員の能力開発のために研修等を実施若しくは派遣しているか	A
20	シラバスは十分に検討し作成されていたか。	A
21	シラバスの内容見直しについて教員間で検討されていたか。	A
22	教務の問題について、組織内で適切に話し合われているか	B
23	十分に余裕を持って教育行事の準備が出来ているか。	B
24	学生による学校評価を反省し、事後の教務を改善しているか。	A

【現状の問題点】

設問23以外は問題はない。余裕を持てるように準備段階から計画的に進められるようにしていきたい。

【改善のための方策】

・定期的に学科会を行い、教員間の連絡を密に行う。
・業務内容を精査し、「実施すべきこと」「実施しなくて良いこと」を明確化し時間内に終わる計画にする。

【関係者評価】

教科書が改訂されるのは年度末のぎりぎり。それを元にシラバスを検討しなければいけないが、物理的に難しい。臨機応変に対応を。

４．学修成果

【自己評価結果】		平均
25	就職率の向上が図られているか	A
26	退学率の低減が図られているか	A

【現状の問題点】

高評価であり問題はない

【改善のための方策】

継続していく。

【関係者評価】

退学率に関し、学生自身興味がない、資質がないと分かったのであれば早めに辞めた方が良い場合もある。その判断を丁寧に教員が見極めて対応を。
学習面について不安がある場合は、早い時期からフォローをして対応を心掛けてほしい。

５．学生生活支援

【自己評価結果】		平均
27	学生相談、カウンセリングに関する体制が整備・機能しているか。	A
28	各学校行事について、適切な事後反省を行い次回に活かしているか。	A
29	防犯・防災訓練の実施・防災計画の作成等、不法侵入・災害に対する整備は万全か。	B
30	進路活動に関する支援が整備され、機能しているか。	A
31	中途退学の理由、実状を適切に把握し、教職員で共有しているか。	A

【現状の問題点】

防犯、防災については学校全体に問題提起できるように検討したい。

【改善のための方策】

防災について学科としては令和2年度10月に消防署に依頼し講義演習を実施予定。防災に関しては毎年学科独自で企画実施している。実施後は学科会にて話し合い書面化していく。

【関係者評価】

秋に外来の講師をよび、大きな講演会を開催予定（平日の夜）。そのような行事に学生も積極的に参加してもらえると良い学びに繋がる。

６．教育環境

【自己評価結果】		平均
32	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	B

【現状の問題点】

予算作成で計画的に整備を進めていきたい。

【改善のための方策】

・実習を効率的に進められる様に器材の数などを見直していく。
・歯科衛生士養成所ガイドラインの改正も視野に入れ将来を見据えた準備を進めていく。

【関係者評価】

設備については毎年更新している様子なので、今後とも世の中の流れを考慮して対応を。

７．学生の受け入れ募集

【自己評価結果】		平均
33	学生募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法，時期は適切か。	A
34	入学案内（パンフレット）には志願者が必要とする情報が掲載されているか。	A
35	体験入学の時期、回数、内容は適切か。	A
36	入学者選抜の時期、方針、方法は適切か。	A

【現状の問題点】

評価としては問題がないが、今後も学生確保に努力していきたい。

【改善のための方策】

高校ガイダンスが減少している為、歯科医師会イベントでの広報活動を幅広い年齢を対象に実施していく。
動画の配信について力を入れている。

【関係者評価】

62人の志願者がいたことが努力の結果である。
歯科衛生士という職業をより理解してもらうための工夫が必要。

８．財務

【自己評価結果】		平均
37	・中長期的に所属学科の学費納入基盤は安定しているといえるか	A
38	・学科で策定した予算・収支計画・執行は有効かつ妥当なものになっているか	A

【現状の問題点】

特に問題はない。

【改善のための方策】

継続していく

【関係者評価】

特になし

９．法令等の遵守

【自己評価結果】		平均
39	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	A
40	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	A
41	個人情報保護法を遵守しているか。	A
42	各種ハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか。	A

【現状の問題点】

特に問題はない。今後も注意していきたい。
【改善のための方策】
継続していく 臨床実習に関し、歯科医師と学生が連絡先を交換している医院もある様子。歯科医師への注意や実習先の変更を考慮。
【関係者評価】
歯科医師が学生に連絡先を聞くことがハラスメントである。 SNSの使用方法等、学生自身安易であるためしっかりと教育をすべき。 動画の配信に関し、ただ載せれば良いということではないため、ボーダーラインを決めるべき。